

2 0 1 5 年 1 1 月 2 4 日

 株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 12-5 小伝馬町 Y S ビル
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

 広報部 TEL.03-3664-5697
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

国内の外食産業市場調査シリーズ

国内の外食産業 1 4 分野 1 3 4 業態を総括分析

2 0 1 5 年見込 (2 0 1 4 年比)

国内の外食産業総市場 CVS テイクアウトフードが好調なテイクアウトが市場拡大をけん引
 3 2 兆 6 , 9 3 6 億円 (0 . 4 % 増)
 ポップコーン専門店 食シーンが広がり、大人の需要を獲得 4 0 億円 (3 7 . 9 % 増)

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済 (東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811) は、国内の外食産業 1 4 分野 1 3 4 業態の総合分析、外食企業 4 0 社と海外・海外展開の外食企業の事例研究、加えて注目成長市場をまとめ、その結果を報告書「**外食産業マーケティング便覧 2 0 1 5 No . 3**」にまとめた。

< 調査結果の概要 >

国内の外食産業総市場

| 2 0 1 4 年 | 2 0 1 5 年見込 | 2 0 1 4 年比 |
|--------------------|--------------------|-------------|
| 3 2 兆 5 , 5 2 8 億円 | 3 2 兆 6 , 9 3 6 億円 | 1 0 0 . 4 % |

2 0 1 4 年は 1 4 分野中 9 分野が前年比マイナス成長となったものの、市場構成比が最も大きいテイクアウトのほか、交通機関、ファミリーレストラン、喫茶、西洋料理の 5 分野のプラスがそのマイナスをカバーし、トータルでは微増となった。テイクアウトでは CVS テイクアウトフードの伸びが市場拡大をけん引した。2 0 1 3 年は各 CVS チェーンがカウンターコーヒーへの注力度を高めたことから、ホットスナックなどのついで買いが進んだが、2 0 1 4 年は「セブン - イレブン」がカウンタードーナツを導入したことが話題となり大幅に伸長した。また量販店、百貨店デリカやチェーン系スイーツ店も好調だった。テイクアウトに次いで拡大したのは交通機関であり、円安の進行を背景に訪日外国人客数が二桁増となる中で、機内食や、クルーズが組み込まれた外国人向けのツアーの好調により客船食堂が伸長した。

2 0 1 5 年は 1 4 分野中 7 分野がプラスとなり、トータルで前年より伸長幅が拡大すると見込まれる。引き続き、テイクアウトが市場拡大をけん引する。「ローソン」がカウンタードーナツに参入するなど CVS テイクアウトフードの好調が続いている。

市場成長率トップ 1 0 業態 (2 0 1 5 年見込)

| 順位 | 業態 | 2 0 1 5 年見込 | 2 0 1 4 年比 |
|-------|--------------------------|--------------|-------------|
| 1 位 | 天丼 | 1 8 8 億円 | 1 1 9 . 7 % |
| 2 位 | とんかつ・かつ丼 | 3 6 8 億円 | 1 1 7 . 2 % |
| 3 位 | クイックパスタ・ピザ | 9 1 億円 | 1 1 3 . 8 % |
| 4 位 | CVS カウンター FF (ファストフード) | 5 , 3 6 4 億円 | 1 1 2 . 0 % |
| 5 位 | ロードサイド型喫茶店・コーヒー専門店 | 1 , 1 6 0 億円 | 1 1 1 . 5 % |
| 6 位 | ステーキ・ハンバーグレストラン | 9 0 3 億円 | 1 0 9 . 6 % |
| 7 位 | すきやき・しゃぶしゃぶ | 1 , 2 0 1 億円 | 1 0 9 . 0 % |
| 8 位 | オイスターバー | 1 1 6 億円 | 1 0 8 . 4 % |
| 9 位 | スープカフェ | 7 3 億円 | 1 0 8 . 2 % |
| 1 0 位 | 焼肉テーブルオーダーバイキング | 1 , 2 2 0 億円 | 1 0 8 . 0 % |

2015年は外食産業134業態のうち、約半数となる66業態で前年比プラス成長が見込まれる。

成長率1位の天井はテンコーポレーションが展開する「天井てんや」がフランチャイズを活用した出店やテイクアウトの強化などで実績を伸ばし、市場拡大をけん引している。2015年も「天井てんや」が積極的な展開を続けていることからさらなる拡大が見込まれる。

2位のとんかつ・かつ丼はアーランドサービスが運営する「かつや」が出店エリア拡大から全国的にブランド力を高めているほか、松屋フーズの「松乃家」が駅近立地や繁華街を中心とした展開を進め価格を強みに実績を伸ばしていることから、2015年も高い成長率を維持すると見込まれる。

3位のクイックパスタ・ピザは2014年に「パルメナーラ」などを展開するマリノなど上位企業の出店攻勢によってパスタチェーン、ピザチェーンの双方が伸長して大幅に市場拡大したが、各企業による出店攻勢は2015年も続いており大幅な拡大が見込まれる。

<注目成長市場>

ポップコーン専門店

| 2014年 | 2015年見込 | 2014年比 |
|-------|---------|--------|
| 29億円 | 40億円 | 137.9% |

テイクアウトのポップコーンを主要メニューとして販売している専門店・移動型店舗を対象とする。

2013年に油を使用せずに熱風のみで製造する“エアーパーン”の技術を導入した「ヒルバレー」やシカゴの老舗ブランドである「ギャレットポップコーンショップス」が国内にオープンし、行列ができる人気となったことでプレミアムポップコーンの市場が形成された。その後は一気に専門店が増加し、市場が大幅に拡大している。原宿・中目黒など繁華街路面店や複合商業施設、百貨店などのテナントとして出店が進んだことで、映画のおともから食シーンが広がったことや、大人の需要を獲得したことなどが拡大要因である。

クラフトビールレストラン

| 2014年 | 2015年見込 | 2014年比 |
|-------|---------|--------|
| 226億円 | 236億円 | 104.4% |

ビール売り上げの70%以上がクラフトビール、地ビールで占められる店舗を対象とする。

2011年に「クラフトビアマーケット」が参入し、当時としては低価格設定で人気を集め、クラフトビール専門店ブームの火付け役となった。その後は追従する企業が急増しており、クラフトビールブームを追い風に今後も市場拡大が続くとみられる。醸造所を持たないことでイニシャルコストを掛けず、各地のバラエティ豊かなクラフトビールを仕入れて飲み比べができることを訴求した店舗が増加しており、主流になっていくとみられる。

<調査対象>

| | | |
|-------------|--|---|
| No. 1 掲載業態 | ファストフード(22業態) テイクアウト(13業態) ホームバリエーティング(8業態) | 料飲店(8業態) 交通機関(5業態) レジャー施設(10業態) |
| No. 2 掲載業態 | ファミリーレストラン(9業態) 喫茶(11業態) 西洋料理(12業態) 日本料理(14業態) | 東洋料理(7業態) エスニック料理(3業態) 給食(7業態) 宿泊宴会場(5業態) |
| 注目外食企業事例40社 | <p><リーディングカンパニー編></p> <p>イートアンド すかいらーく ハイデイ日高 物語コーポレーション エー・ピーカンパニー SFPダイニング くらコーポレーション</p> <p><ミドルステージカンパニー編></p> <p>アスラポート・ダイニング まつおか 麦の穂 トランジットジェネラルオフィス ペッパーフードサービス</p> <p><アーリーステージカンパニー編></p> <p>ブルーボトルコーヒージャパン 梅見月 ITALYO JAPAN NATTY SWANKY フジヤマ55グループ FTG Company team86 T・Sコーポレーション ゴリップ</p> | <p>フジオフードシステム ライドオン・エクスプレス ダイヤモンドダイニング サガミチェーン ホットランド ロイヤルホールディングス</p> <p>ユウシン ヨシックス 串カツ田中 俺の</p> <p>ファンゴー クリーン・ブラザーズ ステディワークス ドリーマーズ 越後屋 ブルームダイニングサービス ワインカフェカンパニー SUU・SUU・CHAIYOO 高倉町珈琲</p> |
| 海外における外食産業 | <p><日系企業></p> <p>ハチバン サイゼリヤ イートアンド 麦の穂</p> <p><現地企業></p> <p>テクスケムリソーシズグループ(マレーシア) ヒロマサイインターナショナル(台湾)</p> | |
| 注目成長市場 | ポップコーン専門店 クラフトビールレストラン | スペシャルティコーヒーショップ |

<調査方法> 富士経済専門調査員による参入企業及び関連企業・団体などへのヒアリング及び関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間> 2015年7月～9月

以上

| |
|--|
| 資料タイトル: 「外食産業マーケティング便覧 2015 No. 3」 |
| 体 裁: A4判 485頁 |
| 価 格: 書籍版 110,000円+税 PDF/データ版 120,000円+税 書籍版・PDF/データ版セット 140,000円+税 書籍版・ネットワークパッケージ版セット 220,000円+税 |
| 発 行 所: 株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル TEL: 03-3664-5811(代) FAX: 03-3661-0165 https://www.fuji-keizai.co.jp/ e-mail: info@fuji-keizai.co.jp |
| 調 査・編 集: 東京マーケティング本部 第一部 TEL: 03-3664-5821 FAX: 03-3661-9514 |
| この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL: http://www.group.fuji-keizai.co.jp/ |